

平成28年度 北小学校 グランドデザイン

<学校経営ビジョン>

- 仲間、学校、地域の支えやつながりの中で人とつながり、新しい社会を創造していく力をもった子どもを育てる学校。

学校教育目標

「花とみどりと笑顔の学校」
～あふれるあいさつ、ひびきあう心～

<保護者の願い> (学校評価アンケートより)

- 子どもたちが仲良く、楽しく、安心できる学校
- 基礎学力の定着を目指す学校
- 心身ともに豊かな体験活動ができる学校
- 地域の素材・人材とふれあう活動ができる学校

「社会において自立的に生きる力」の育成
10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造

よくふれあい

多様な大人と直に相互に関わることをとおして、子どもたちは人に対する関心や愛着を深め、信頼感を構築していく。そのことが人と人がつながって新しい社会をつくっていく力の源となる。

☆多様な大人の一人としての教師☆

友だちいっぱい

「多様な他者と関わり合う場」を確保します。

- 外部講師によるクラブ活動
- 地域社会と関わる職場体験学習(5,6年)
- 多様な視点から子どもをサポートする学習支援ボランティア
- 授業やそうじを互いに見合い、学び合う異学年交流

「教師が子どもと向き合う時間」を確保します。

- リズムを整え、やる気高める学級独自の「朝の学級活動」
- 夏日課中の月曜日の放課後、共に学ぶ時間を設ける(高学年)

よく学び

基礎とは、子どもに既成の学力を強いることではなく、目を輝かせ、喜びをもって心身を躍動させるエネルギーを育てることであり、学力とは教え込まれた知識の断片の集積量ではなく、自ら学ぶ力の強さである。

☆学び続ける教師☆

日記を書こう

「北小学びのスタンダード」を推進します。

- 全学年共通で学び方の基本を身につける指導

- 話す人は一人です
- よばれたら、「はい」と返事をします
- 相手に顔と体をむけます
- 相手に聞こえる声で、終わりまで話します
- 相手が話し終えるまで聞きます

「日記(書く)指導」で自ら学ぶ基礎力を育てます。

- 保護者と連携し、書くことで思考力、表現力を育てる指導
- 「学年研究体制による授業改善」をします。
- 指導主事を専任講師とし、全職員が授業公開

よく遊ぶ

遊びは生きる力の源。子どもたちの生活そのものである。遊びをとおして自己や友だちの尊厳に気づき、生きる意欲を育て、世界を切り拓いていく冒険心を養う。

☆子どもと共に遊ぶ教師☆

遊びつくそう

「遊びの時間、自主的活動の時間」を確保します。

「ハッピータイム」(外遊びの日)の充実

- さらなる遊びの誘発を促す
- 掲示板を使って、全校に遊びの輪を広げる

ゆとりのある昼休み

- さまざまな活動に取り組める時間を確保する



「異学年交流でのふれあい」
・ペア読書・ふれあい給食・えがおの大集会



「花作りを通じた環境美化教育」
・種から育てる学年花壇
・フラワーロード・一人一鉢

<誇りをもてる特色ある活動>



「音楽が響き合う学校」
・サントミュージーゼでの音楽会
・合唱部、吹奏楽部の活躍



「ふるさと学習」
・外部講師によるクラブ活動
・学校りんご園でのりんご栽培



「職場体験学習」
・地域の職場で実施

- なかよし学級、ことばの教室、まなびの教室、日本語教室、心の相談室、保健室と学級がつながり合う支援

<児童理解・適切な支援>

- 支援教員による個別の支援

<3つのしつけ>

- 「はい」という返事
- あいさつ
- くつをそろえる

<2つの習慣>

- 早寝 早起き 朝ごはん
- テレビを消して読書・学習

<保護者・地域との連携>

- 笑顔まもり隊との連携強化
- P.T.A活動(北小まつり、親子チャレンジ、P.T.A作業等)

- 家庭学習の充実(家庭学習の手引き配布)
- 緊急メール配信
- 学校教育方針発信